

題目:妊婦膣内における大腸菌およびリステリア菌の保菌調査ならびに新生児感染症との関連性に関する検討

1. 対象:

- ①妊婦検診を目的に提出された膣分泌物より分離した大腸菌およびリステリア菌
- ②新生児の出生時検査を目的に提出された培養検査材料より分離した大腸菌およびリステリア菌

2. 研究機関名:

大阪大学医学部附属病院

3. 菌株収集期間:

2011年4月1日～2012年3月31日

4. 目的:

妊婦膣内における大腸菌およびリステリア菌の保菌調査ならびに新生児感染症との関連性の検討

5. 方法:

- ①大腸菌の細菌学的解析:薬剤感受性試験(MIC法),病原因子の解析(PCR法),血清型別(凝集法),遺伝子型別(パルスフィールド電気泳動法)
- ②リステリア菌の細菌学的解析:薬剤感受性試験(MIC法),血清型別(凝集法),遺伝子型別(パルスフィールド電気泳動法)

6. 意義:

- ①妊婦膣内の大腸菌およびリステリア菌保菌状況が把握できます。
- ②新生児感染症の危険因子が推察できます

7. 個人情報の扱い:

研究対象者のデータから氏名等の個人情報を削り、代わりに新しく番号をつけて匿名化を行います。

8. 問い合わせ先:

大阪大学医学部附属病院・臨床検査部(TEL:06-6879-6680)

9. 研究対象者に研究への参加を拒否する権利を与える方法:

上記問合せ先にお電話にて連絡ください。参加を拒否される方のデータはすべて削除いたします。